

令和4年度 東京都 共同作成問題 適性検査 I (45分)

1 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

そのころをよめる。
 このころをよめる。
 このころをよめる。

2 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

3 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

4 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

5 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

6 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

7 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

8 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

9 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

10 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

11 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (1) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。
 (2) 文庫「目録」をよみ、あとの問いに答えよ。

文章5枚

令和4年度 東京都 共同作成問題
適性検査Ⅰ(45分)

問題3問

〔問題1〕 こころざし 心躍る景色とありますが、これは **文章1** ではどのような表現で表現されていますか。解答らんんに書きなさい。

〔問題2〕 **文章1**・**文章2** で筆者は、いずれも生き物を研究対象にしています。研究に対する筆者の姿勢しせいに共通するのはどのような点ですか。解答らんんに書きなさい。

〔問題3〕 あなたは、これからの六年間をどのように過ごしたいですか。 **文章1**・**文章2** のいずれかの、筆者の研究や学問への向き合い方をいまえ、どちらをいまえたかを明らかにして自分の考えを書きなさい。なお、内容のまとめりやつながりを考えて段落に分け、四百字以上四百四十字以内で述べなさい。ただし、下の〔きまり〕にしたがうこと。

〔きまり〕

- 題名は書きません。
- 最初の行から書き始めます。
- 各段落の最初の字は一字
- 行をかえるのは、段落を
- 、や。や」などもそ
- が行の先頭に来るときに
- 書きなさい。(ますめの下
- 。と」が続く場合には、
- この場合、「。」で一字と数
- 段落をかえたときの残り
- 最後の段落の残りのます

文章を素早く的確に読む読解力
自分の考えを分かりやすく表現できる力

令和4年度 東京都 共同作成問題 適性検査Ⅱ 解答用紙

1

〔問題1〕

(1)				c m
(2)	(直角三角形)	(正三角形)	(円)	
	個	個	個	
	〔説明〕			

※

〔問題2〕

(1)	イ 1 → □ → □ → □ → □ → □ → □ → □ ●
(2)	

※

2

〔問題1〕

〔サケのルイベ〕
〔マアジのひもの〕
〔ブリのかぶらずし〕

※

〔問題2〕

(選んだ二つを○で囲みなさい。)
米 ・ 小麦 ・ そば

※

3

〔問題1〕

(1) (選んだもの)
〔理由〕
(2)

※

〔問題2〕

(1)
(2) (サラダ油が見えなくなるもの)
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> せんどうい 〔洗剤〕 てん 滴 </div>

※

適性検査の特色

- ①問題文を読ませたうえで、「自分の意見を書かせる」「分析・判断させる」「過程を説明させる」などが多い
- ②ひとつの正解を求めさせることよりも、なぜその答えに至ったのか、その道筋を説明させるパターンが多い
- ③教科の枠を超えた総合的な力を測る問題が出される
- ④身の周りの事象や社会問題等を題材とし、問題解決能力を試す問題が出される

実際の問題例【令和2年度 東京都 共同作成問題 適性検査Ⅱ】

1 先生、花子さん、太郎さんが、校内の6年生と4年生との交流会に向けて話をしています。

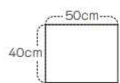
先生：今度、学校で4年生との交流会が開かれます。6年生59人は、制作した作品を展示して見てもらいます。また、4年生といっしょにゲームをします。

花子：楽しそうですね。私たち6年生は、この交流会に向けて一人1枚画用紙に動物の絵をかいたので、それを見てもらうですね。絵を展示する計画を立てましょう。

先生：みんなが絵をかいたときに使った画用紙の辺の長さは、短い方が40cm、長い方が50cmです。画用紙を横向きを使って絵をかいたものを横向きの画用紙、画用紙を縦向きに使う絵をかいたものを縦向きの画用紙とよぶことにします。

太郎：図1の横向きの画用紙と、図2の縦向きの画用紙は、それぞれ何枚ずつあるか数えてみよう。

図1 横向きの画用紙

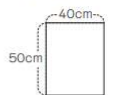


花子：横向きの画用紙は38枚あります。縦向きの画用紙は21枚です。全部で59枚ですね。

太郎：先生、画用紙はどこにはればよいですか。

先生：学校に、図3のような縦2m、横1.4mのパネルがあるので、そこにはります。

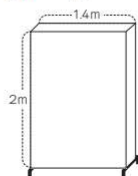
図2 縦向きの画用紙



花子：パネルの両面にはることができます。

先生：作品が見やすいように、画用紙をはることができますよいですね。昨年は、次の【約束】にしたがってはりました。

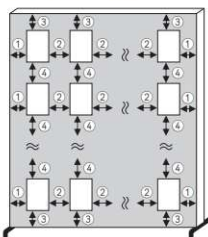
図3 パネル



【約束】

- 図4のように、画用紙はパネルの外にはみ出さないように、まっすくにはる。
- パネルの一つの面について、どの行（横のならば）にも同じ枚数の画用紙をはる。また、どの列（縦のならば）にも同じ枚数の画用紙をはる。
- 1台のパネルに、はる面は2面ある。一つの面には、横向きの画用紙と縦向きの画用紙を混ぜてはならないようにする。
- パネルの左右のはしと画用紙の間の長さを①、左の画用紙と右の画用紙の間の長さを②、パネルの上下のはしと画用紙の間の長さを③、上の画用紙と下の画用紙の間の長さを④とする。
- 長さ①どうし、長さ②どうし、長さ③どうし、長さ④どうしはそれぞれ同じ長さとする。
- 長さ①～④はどれも5cm以上で、5の倍数の長さ（cm）とする。
- 長さ①～④は、面によって変えてもよい。
- 一つの面にはる画用紙の枚数は、面によって変えてもよい。

図4 画用紙のはり方



花子：今年も、昨年の【約束】と同じように、パネルにはることにしましょう。

太郎：そうだね。例えば、図2の縦向きの画用紙6枚を、パネルの一つの面にはってみよう。いろいろなはり方がありそうですね。

【問題1】【約束】にしたがって、図3のパネルの一つの面に、図2で示した縦向きの画用紙6枚をはるとき、あなたなら、はるときの長さ①～④をそれぞれ何cmにしますか。

花子：次に、6年生の作品の、横向きの画用紙38枚と、縦向きの画用紙21枚のはり方を考えていきましょう。

太郎：横向きの画用紙をパネルにはるときも、【約束】にしたがってはればよいですね。

花子：先生、パネルは何台ありますか。

先生：全部で8台あります。しかし、交流会のときと同じ時期に、5年生もパネルを使うので、交流会で使うパネルの台数はなるべく少ないほうがよいですね。

太郎：パネルの台数を最も少なくするために、パネルの面にどのように画用紙をはればよいか考えましょう。

【問題2】【約束】にしたがって、6年生の作品59枚をはるとき、パネルの台数が最も少ないときのはり方について考えます。そのときのパネルの台数を答えなさい。

また、その理由を、それぞれのパネルの面に、どの向きの画用紙を何枚ずつはるか具体的に示し、文章で説明しなさい。なお、長さ①～④については説明しなくてよい。

解答例

横向きの画用紙は、パネル1面に最大で8まいはることができるので、1面に8まいずつはると、4面で32まいはることができる。残りの6まいは、1面ではれるので、合わせて5面使う。

たて向きの画用紙は、パネル1面に最大で9まいはることができるので、1面に9まいずつはると、2面で18まいはることができる。残りの3まいは、1面ではれるので、合わせて3面使う。

したがって、すべての画用紙をはるのに8面使うから、パネルは4台必要である。

複雑に見える問題文を素早く的確に読み解く読解力
論理的に考える力

実際の問題例【令和3年度 東京都立武蔵高等学校附属中学校 適性検査Ⅲ】

② はるきさん、なつよさん、あきおさん、ふゆみさんの4人は、総合的な学習の時間にグループで取り組む調査について相談しています。

はるき：ニュースで地球温暖化という言葉をよく聞くけど、それについて何か調べられないかな。

なつよ：気温が上がるとどのようなことが起こるのかな。

あきお：気温が変わってきたことで生き物の様子が変わることがあると聞いたことがあるよ。

ふゆみ：私も聞いたことがあるよ。クマゼミというセミは、日本では四国や九州といった西日本で主に観察されていたけれど、最近は関東地方でも多く観察されるようになってきたようだよ。東京でもだんだんとクマゼミの数が増えてきたようだよ。

はるき：それは興味深いね。私たちでも調べられるかもしれないから、考えてみようよ。

ふゆみ：まず、本当に東京の私たちが住む町で他のセミと比べてクマゼミが増えているのかを調べる必要がありそうだね。どうやって調べたらいいかな。

あきお：たとえば地域の人にアンケートをとってみたいいいのではないかな。

なつよ：実際に探しに行ってみてもいいかもしれないね。

【あきおさんの調べ方】

「クマゼミの鳴き声を聞いたことがありますか？」というアンケートを取り、回答結果を記録する。

【なつよさんの調べ方】

家の近くの公園に行き、クマゼミのぬけがらを探し、その数を記録する。

ふゆみ：なるほど。でも2人の調べ方では、どちらもクマゼミが他のセミよりも増えていることをより正確に調べるには不十分ではないかな。

はるき：そうだね。もう少し正確に調べる方法を考えてみよう。

【問題1】 【あきおさんの調べ方】と【なつよさんの調べ方】よりもクマゼミが他のセミよりも増えていることをより正確に調べるには、それぞれの方法に、さらにどのようなことを追加して調べればよいですか。どちらか1人の調べ方を選び、追加して調べる方法を具体的に述べなさい。

【ふゆみさんのメモ】

クマゼミ

卵：1年、幼虫：7年、成虫：1か月

モンシロチョウ

卵：5日、幼虫：12日、さなぎ：10日、成虫：14日

はるき：モンシロチョウは必ず卵から5日で幼虫になるのかな。

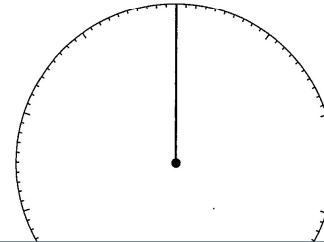
ふゆみ：いいえ、そうとは限らないみたいだよ。季節によってもちがったりするようだから、クマゼミもモンシロチョウも、どちらもおよその時間だと、本には書いてあるよ。

なつよ：発表するときにはそのことも伝えておかないといけないね。

あきお：そうだね。今回グラフを作るのには、この【ふゆみさんのメモ】に書いてある時間を使おう。

はるき：では、みんなでグラフの作成を分担しよう。

【問題2】 クマゼミまたはモンシロチョウのどちらかのこん虫を選び、一生のうちのそれぞれの時間の長さの割合を百分率で求め、円グラフにしなさい。それぞれの割合は百分率で表した数の小数第二位を四捨五入し、小数第一位まで求めなさい。また、円グラフは実線の位置からかき始め、一生の流れが分かるようにかきなさい。なお、それぞれの時間の割合(%)を、数値が分かるように工夫して記入すること。



教科の枠を超えて知識を活用し、論理的に考える力

実際の問題例【令和3年度 東京都 共同作成問題 適性検査Ⅱ】

2 太郎さんと花子さんは、木材をテーマにした調べ学習をする中で、先生と話をしています。

太郎：社会科の授業で、森林は、主に天然林と人工林に分かれることを学んだね。

花子：天然林は自然にできたもので、人工林は人が植林して育てたものだったね。

太郎：調べてみると、日本の森林面積のうち、天然林が約55%、人工林が約40%で、残りは竹林などとなっていることがわかりました。

先生：人工林が少ないと感じるかもしれませんが、世界の森林面積にしめる人工林の割合は10%以下ですので、それと比べると、日本の人工林の割合は高いと言えます。

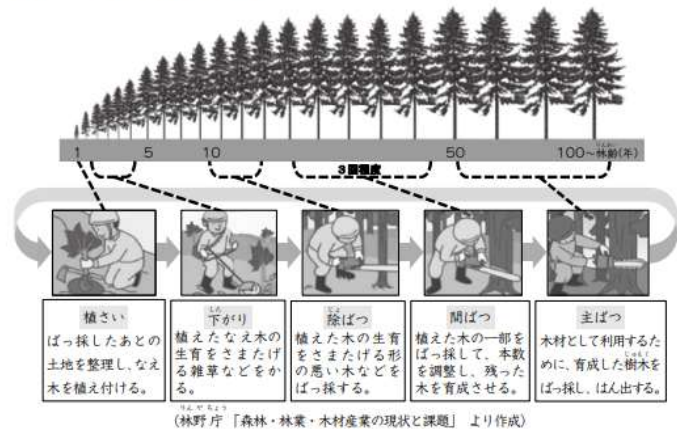
花子：昔から日本では、生活の中で、木材をいろいろな使い道で利用してきたことと関係があるのですか。

先生：そうですね。木材は、建築材料をはじめ、日用品や燃料など、重要な資源として利用されてきました。日本では、天然林だけでは木材資源を持続的に得ることは難しいので、人が森林を育てていくことが必要だったのです。

太郎：それでは、人工林をどのように育ててきたのでしょうか。

先生：図1は、人工林を育てる森林整備サイクルの例です。

図1 人工林を育てる森林整備サイクルの例

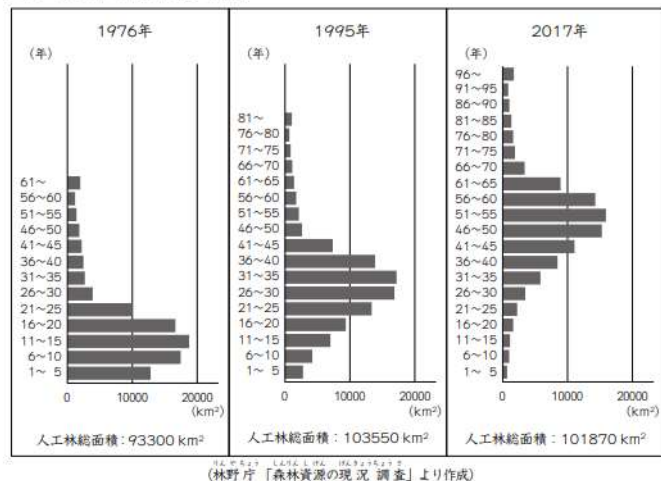


先生：これを見ると、なえ木の植え付けをしてから、木材として主ばつをするまでの木の成長過程と、植え付けてからの年数、それにともなう仕事の内容がわかりますね。一般的に、森林の年齢である林齢が、50年を経過した人工林は、太さも高さも十分に育っているため、主ばつに適していると言えます。

花子：今年植えたなえ木は、50年後に使うことを考えて、植えられているのですね。

先生：人工林を育てるには、長い期間がかかることがわかりましたね。次は、これを見てください。

図2 人工林の林齢別面積の構成



先生：図2は、人工林の林齢別面積の移り変わりを示しています。

太郎：2017年では、林齢別に見ると、46年から60年の人工林の面積が大きいことがわかります。

花子：人工林の総面積は、1995年から2017年にかけて少し減っていますね。

先生：日本の国土の約3分の2が森林で、森林以外の土地も都市化が進んでいることなどから、これ以上、人工林の面積を増やすことは難しいのです。

太郎：そうすると、人工林を維持するためには、主ばつした後の土地に植林をする必要があるということですね。

先生：そのとおりです。では、これらの資料から、20年後、40年後といった先を予想してみると、これからも安定して木材を使い続けていく上で、どのような課題があると思いますか。

〔問題1〕先生は「20年後、40年後といった先を予想してみると、これからも安定して木材を使い続けていく上で、どのような課題があると思いますか」と言っています。持続的に木材を利用する上での課題を、これまでの会話文や図1の人工林の林齢と成長に着目し、図2から予想される人工林の今後の変化にふれて書きなさい。

資料を読み解く読解力
社会問題への関心